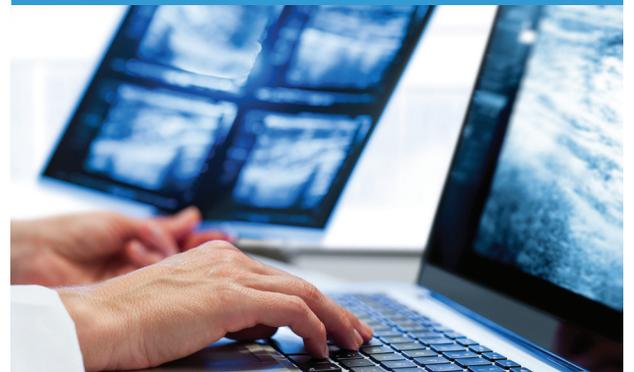


# Continuous Professional Improvement and Case in Point from the American College of Radiology®

約100年にわたり、放射線医学の進化と技術革新の最前線に立ってきた American College of Radiology (ACR: 米国放射線科専門医会)。放射線医学の実践と、指導および学習におけるリーダーとして、放射線治療とケア、支援、教育、質と安全、研究の進歩を推進しています。

放射線医学における  
症例ベースの継続学習  
Ovid®でご利用いただけます



学生、レジデント、および放射線科医のみなさまにお勧めします:

- 日常の臨床例と関連する放射線画像のレビュー
- 鑑別診断の確定と結論
- 患者とその家族に対する、画像解釈の説明方法の習得
- 放射線医学分野における最新動向の入手
- 貴重なCME/SA-CME実施時間数の取得
- 診断と患者管理に関する知識の確認

ACRのコアリソースである *Continuous Professional Improvement* と *Case in Point* の2点が、医療機関においてもOvidでご利用いただけるようになりました。

症例に基づいた独自の学習環境とセルフ・アセスメント（自己評価）を提供します。放射線科の下位専門分野まで網羅し、学生用の画像診断教材として、またレジデントや放射線科医の自己研鑽ツールとしてもご利用いただけます。



# ACR's Continuous Professional Improvement and Case in Point

## Continuous Professional Improvement (CPI)

約50の問題（多くは画像ベース）からなる下位専門分野別のモジュールで構成されています。**CPI**は、American Board of Radiology（米国放射線科専門医会）が必須とする研究分野を網羅した、専門家による査読付きケースワークを掲載しています。

- およそ2,050の症例、6,000の注釈付き画像、8,200の理論的解釈
- 複数の放射線科下位専門分野にまたがる症例の画像
- 医療現場で活躍する200名以上の現役専門家が作成した、自分のペースで自己評価まで行う症例診断と管理
- 各モジュールにつき、最大8時間分のCME単位取得が可能



## Case in Point (CiP)

放射線科の下位専門分野におけるケーススタディのコレクションです。主に学生とレジデントを対象に、レジデントやその指導者からなるチームが作成しています。コンテンツは2005年以降毎日追加されています。各症例は簡潔な病歴、画像を用いた問題、鑑別診断および診断をめぐる考察が提示されます。

- 様々な放射線科下位専門分野から、4,200超の症例を掲載。症例リストは日々追加
- **Case in Point** からメール配信される「今日の症例」購読オプションあり。メールは毎日配信され、「今日の症例」閲覧と学習が可能
- 1症例につき、CME/SA-CME 0.25単位の取得が可能

Case  
in Point

